

川崎幸 (さいわい) 病院 乳腺外科 最新情報

川崎幸病院・川崎幸クリニックは、日本乳癌学会認定関連施設です

日本でも日々増え続ける乳がん。日本女性が生涯で乳がんになる確率は、17人に1人とされています。

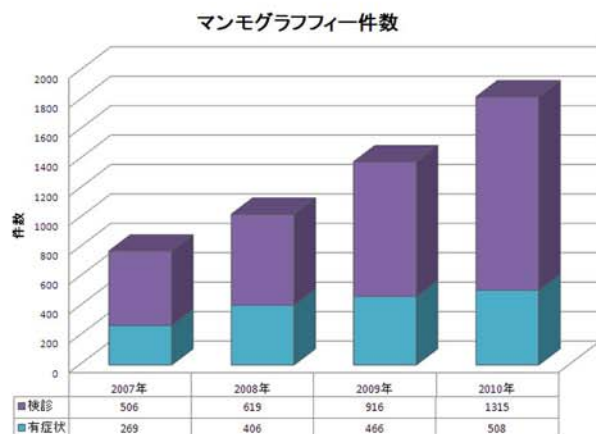
最近では、徐々に乳がん検診の重要性が伝えられてきていますが、まだまだ多くの女性達が進行乳がんの状態です。乳腺外来を受診されます。

私たち川崎幸病院乳腺外科では、乳がんの早期発見から緩和ケアまでを、トータルでおこなう環境を整えています。

1人でも多くの女性達が笑顔で過ごせるように、お手伝いをさせていただきます。

乳腺外科 担当医：高橋 保正

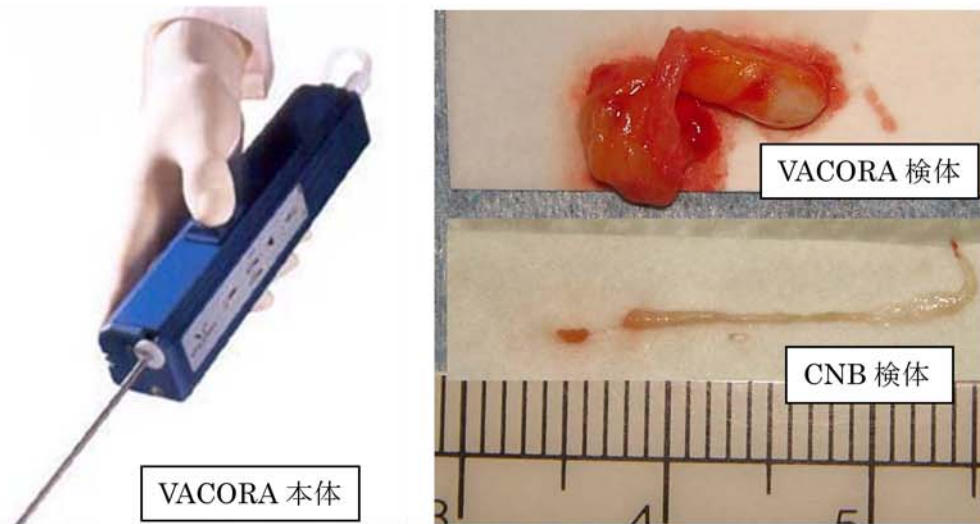
<当院におけるマンモグラフィー・乳腺針生検実績>



当院では乳がん検診の実績も増加しつつあり、マンモグラフィー検診は年間 900 件を超え、精査目的のマンモグラフィーを含めると、年間約 1,300 件のマンモグラフィーを実施しております。

また、精度の高い針生検 (CNB : core needle biopsy) および早期乳がん発見のための、超音波ガイド下穿刺吸引組織診 (VACORA[®]) も取り入れて、高い正診率を維持しています。

<VACORA による生検の実際>



通常の CNB による検体採取量の約 10 倍の組織量採取が可能です。
従いまして、より確実な術前診断が可能となっております。

<当院における手術治療>



当院では、年々手術件数も伸びを見せております。
乳腺外科担当医師 高橋 保正は、神奈川乳がん治療研究会に所属し、
常に患者様にとっての正しい治療を、
患者様・御家族様と御一緒に考え、決定し、おこなうことを
心がけております。

川崎幸病院乳腺外科 TOPICS

ハーモニクスカルペルFOCUSの導入



乳腺外科領域において、今注目されている超音波凝固切開装置であるハーモニクスカルペルフォーカス。

当院では、いち早く同機を導入し、安全で確実な手術をおこなっています。

これにより浸出液やリンパ液の流出も抑えることができ、術後患者様の回復も早く、入院期間短縮に成功しています。

乳房温存療法の術後平均在院期間は、約2日です。

センチネルリンパ節生検の実施



当院では色素法によるセンチネルリンパ節生検をおこなっており、術中迅速病理検査によりリンパ節転移の確認された患者様に対してのみ、腋窩リンパ節郭清をおこなっています。

腋窩リンパ節郭清後の腕のリンパ浮腫発生率は論文によると約50%というデータもあり、これをセンチネルリンパ節生検により防ぐことができます。

緩和ケアチームとの融合

当院では、乳がんの診断に伴う気持ちの落ち込みの時点から、緩和ケアチームが介入しています。入院費用・御家族のこと・術前術後のリハビリ・心のサポートなどをチームでおこなっております。手術前には十分な心のケアをおこない、術後も長期にわたる治療をチーム全員で患者様・御家族様を支えています。

みなさまへ

川崎幸病院・川崎幸クリニックでは、
これからも乳がん患者様そして御家族様のために、
常に最先端の医療を提供し、
心のケアも含めた全人的医療をおこなってまいります。
胸のお悩みを抱えていらっしゃる患者様は、
当院にお任せくださいませ。

(文責:高橋 保正)